

スプリンクラー設備

スプリンクラーが火災を感知すると



① スプリンクラーヘッドが熱を感知し、散水を開始する



② 専用ポンプが起動し、消火が行われる



チェックポイント

散水障害



送水口まわりの点検



- スプリンクラーヘッドの周辺に障害物はありませんか
- 散水を止めるための制御弁がどこにあるかわかりますか
- 送水口の周辺には、障害物はありませんか

消火確認後の復旧方法



①該当する制御弁室（各階に有）へ急行する



②制御弁を閉める
(時計回り：右回転)



③警報盤（ポンプ室等）の復旧操作を行う



④ポンプ制御盤（ポンプ室等）の停止操作を行う

スプリンクラー設備は、初期消火の能力は非常に高いのですが、火災の消火を確認したら、制御弁を操作して散水を止めないと、水による被害（水損）が発生します。